

令和6年第1回臨時会

津別町議会会議録

令和6年第1回 津別町議会臨時会会議録

招集通知 令和6年1月10日

場 所 津別町議会議事堂

開会日時 令和6年1月16日 午前10時00分

閉会日時 令和6年1月16日 午前10時22分

議 長 鹿 中 順 一

副 議 長 山 内 彬

議員の応招、出席状況

議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況	議席 番号	氏 名	応 招 不応招	出席 状況
1	篠 原 眞稚子	○	○	6	巴 光 政	○	○
2	渡 邊 直 樹	○	○	7	佐 藤 久 哉	○	○
3	小 林 教 行	○	○	8	高 橋 剛	○	○
4	村 田 政 義	○	○	9	山 内 彬	○	○
5	山 田 英 孝	○	○	10	鹿 中 順 一	○	○

地方自治法第 121 条第 1 項の規定により説明のため出席した者の職氏名

(イ) 執行機関の長等

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
町 長	佐藤 多一	○	監 査 委 員		
教 育 長	近野 幸彦	○	選挙管理委員会委員長		
農業委員会委員長					

(ロ) 委任または嘱託

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
副 町 長	伊藤 泰広	○	生涯学習課長	石川 波江	○
総 務 課 長	松木 幸次	○	生涯学習課長補佐	谷口 正樹	○
防災危機管理室長	中橋 正典	○	監査委員事務局長	千葉 誠	○
住民企画課長	小泉 政敏	○	監査委員事務局次長	丸尾 達也	○
住民企画課参事	加藤 端陽	○			
住民企画課長補佐	菅原文 人	○			
保健福祉課長	森井 研児	○			
保健福祉課長補佐	仁部 真由美	○			
保健福祉課主幹	向平 亮子	○			
保健福祉課主幹	丸尾 美佐	×			
産業振興課長	迫田 久	×			
産業振興課長補佐	渡辺 新	○			
建 設 課 長	石川 勝己	○			
建設課長補佐	斉藤 尚幸	○			
会 計 管 理 者	宮脇 史行	○			
総務課庶務係長	坂井 隆介	○			
住民企画課財政係長	宮田 望	○			

会議の事務に従事した者の職氏名

職 名	氏 名	出 欠	職 名	氏 名	出 欠
事 務 局 長	千葉 誠	○	事 務 局	安瀬 貴子	○
総 務 係 長	土田 直美	○			

会 議 に 付 し た 事 件

日程	区分	番号	件 名	顛 末
1			会議録署名議員の指名	2番 渡邊 直樹 3番 小林 教行
2			会期の決定	自 1月16日 1日間 至 1月16日
3			諸般の報告	
4			行政報告	
5	議案	1	津別町手数料徴収条例の一部を改正する 条例の制定について	
6	〃	2	令和5年度津別町一般会計補正予算（第 8号）について	

(午前 10 時 00 分)

◎開会の宣告

○議長（鹿中順一君） おはようございます。

ただいまの出席議員は全員であります。

ただいまより令和6年第1回津別町議会臨時会を開会します。

1月1日に発生した、石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震で壊滅的な被害を受けた方々にお見舞いを申し上げたいと思います。

また、犠牲となられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げ、黙禱をささげたいと思います。ご起立をお願いします。

(全員起立)

黙禱をはじめます。黙禱。

黙禱を終わります。ご着席ください。

(全員着席)

◎開議の宣告

○議長（鹿中順一君） それでは、これから本日の会議を開きます。

本日の会議に付する議案は、お手元に配付のとおりです。

◎会議録署名議員の指名

○議長（鹿中順一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、議長において

2番 渡 邊 直 樹 君 3番 小 林 教 行 君

の両名を指名します。

◎会期の決定

○議長（鹿中順一君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間にしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(鹿中順一君) 異議なしと認めます。

したがって、本臨時会の会期は本日1日間に決定しました。

◎諸般の報告

○議長(鹿中順一君) 日程第3、諸般の報告を行います。

事務局長に報告させます。

○事務局長(千葉 誠君) 諸般の報告を申し上げます。

本日の議事日程については、お手元に配付してあります日程表のとおりであります。

本日の会議に説明のため出席する者の職、氏名は一覧表としてお手元に配付しているとおりであります。職務の都合により一部に異動がある場合がありますことをご了承願います。

前議会から本日までの議会の動向につきましては、お手元に配付しているとおりであります。

以上でございます。

○議長(鹿中順一君) これで諸般の報告を終わります。

◎行政報告

○議長(鹿中順一君) 日程第4、行政報告を行います。

町長から、行政報告に関して発言の申し出がありますので、これを許します。

町長。

○町長(佐藤多一君) [登壇] おはようございます。

本日ここに第1回臨時会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多忙のところご出席賜り、厚くお礼申し上げます。

ただいま発言のお許しをいただきましたので、12月定例会後の行政報告を申し上げます。

はじめに、誠に残念な報告ではありますが、去る12月12日、津別町自治功労者 新

鞍正美様のご逝去されました。さらに1月4日には津別町自治功労者 浅井隆義様のご逝去されました。お二方は、永きにわたり統計調査員を務められ、町政の発展に多大なご貢献をいただきました。

生前中の数々のご功績に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げますとともに、安らかなご冥福をお祈り申し上げます次第であります。

次に、北海道大学の課外活動団体HALCCによる成果報告会についてであります。12月16日、町民会館で行われました。

今年度の高大連携事業では、町勢要覧をもとに高校生が考える「理想の津別町」をテーマに、大学生たちのアドバイスを受けながら、具体的な解決策や振興策の提言をまとめ上げました。当日は高校2年生18名から発表があり、中には「自身が事業実施に関わります」との発言もあり、明るい未来を感じさせる充実した報告会となりました。

HALCCからは「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2023」において北海道経済産業局長賞を受賞した「つべつギルド～世代間交流を促進するお悩み解決プラットフォーム～」が紹介され、大学生ならではの発想で、津別町民を巻き込んだ新たなまちおこしに期待するところです。

報告された提言につきましては、今後のまちづくりの参考にしつつ、本事業が人材育成や地方創生の直接的な効果のみならず、若い世代が地元や地方の課題を考える機会となっており、継続して取り組んでまいる所存です。

次に、丸玉木材株式会社様からの寄附についてであります。本年も寄附の申し出があり、12月18日に会社を訪問し、これまでの丸玉木材森づくり基金の運用状況の報告を行いました。

改めて丸玉木材株式会社様に感謝の意を表しますとともに、今後とも「丸玉木材森づくり基金」の活用により、造林や除間伐などの森林整備事業に助成を行う愛林のまち緑資源を守る推進事業を継続し、豊かな森林の育成に一層努めてまいります。

次に、令和6年能登半島地震被災地への支援についてであります。1月1日、石川県能登地方を震源とする地震により、多くの家屋が倒壊し、多数の死傷者が報告さ

れ、断水や停電などライフラインへの影響により、現在もなお多くの方が避難所での生活を余儀なくされています。また、この地震により甚大な被害を受けております石川県穴水町は、本町と同じく南アルプス市の姉妹都市でもあり、姉妹都市同士の交流についても考えていたところの被災であり、有効な支援方法について検討しているところです。

まずは、被災地への災害義援金受付箱を役場庁舎と「グリーンマートつべつ」、「道の駅あいおい」にご協力いただき設置したところであり、町民の皆さまへ義援金の呼びかけを行ってまいります。

なお、今議会におきまして、条例制定、補正予算の議案を提出いたしますので、慎重にご審議の上、原案にご協賛賜りますようお願い申し上げ行政報告といたします。

よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ただいまの行政報告に対し、質疑を受けます。

ありませんか。

4番、村田政義君。

○4番（村田政義君） 今、町長の行政報告の中で、能登半島の地震の状況、また今後の取り組みについてもお話がありました。私も前日、この被災地の報道を見ながら、本当に大変な状況の中で、今、被災地の方が生活しているんだなというのを実感している一人であります。

また、町長のほうから石川県の穴水町の話もありました。そういったことから、町としても今、支援箱をグリーンマートとか三つの所に置きながら、さらに今後、町民に呼びかけをしながら義援金の取り組みをしていくという話もございました。

過日のテレビの中で、これは過去に岩内町も大きな被災がございました、そういったことから岩内町において、その時に全国各地からいろんな支援をいただき、そのお礼として、やはり今回、公営住宅5件を提供するという話もございました。

そういったことから、今、本当に被災された方々が避難所あるいはビニールハウス、いろんな所での生活を余儀なくされている、また支援物資についても大変な状況に置かれているというのが今日の実態であります。私は正直言って、この復旧についてどれだけかかるのか正直言ってわかりません。本当に5年、10年こういった生活が続く

こともあるのではないかというふうに感じているところでもあります。とりわけ穴水町は、津別よりも高齢化率が高いということも報道の中で認識をしたところでもあります。そういったことから、岩内町で住宅を5戸無償で提供するという、また食料の確保、そういったことも含めて厚く手当てをするという状況であります。ただ、距離的にはかなりありますから、なかなか北海道に移住するということは、かなりこちらに来るということは厳しいかもしれませんが、津別町も先ほど町長のほうで姉妹都市同士の交流についても考えているという話であります。

そういったことから、津別町にどれだけ入居できる住宅があるのか、私は十分承知はしておりませんが、津別町としても、やっぱり住まいの確保、こういったところも今後提供していく考えをすべきではないのかなというふうに感じております。

正直言って答弁はいりません。これからの取り組みの中で、そういったところも含めて検討いただければということをお願いしておきたいと思っております。

以上です。

○議長（鹿中順一君） 町長。

○町長（佐藤多一君） 答弁はらないということでしたけれども、行政報告以外と申しますか、もう少し補足させていただきたいと思っております。

先週、実は穴水町の町長とも電話連絡をしております、今、予想以上に避難所の数が相当増えていまして、ですから増えれば増えるほど職員の対応も含めて非常に苦しい状況にあるというお話をしておりました。

今、一番力を入れているのは、道路、電気、水道、ここの復旧に一番力を入れていますということで言われていまして、私のほうでも、もし人も含めてこういうことをできないだろうかというようなことがあれば遠慮なく連絡くださいと、津別としてもしっかり対応をさせていただきますというふうにお話をしたところです。

また南アルプスのほうともいろいろ協議をしているところでありまして、今、義援金の箱を町中にも設置しましたが、これは石川県全体に対してのものというふうに考えておまして、穴水町に対しての支援金、これは3月議会で別途提出をさせていただきたいというふうに、そこは石川県ということではなくて、穴水町に直接、町からのお金ということで、そういうことを考えているところです。近隣を見てみま

すと、1月議会で相当な金額のところもありますけれども、これは県全体に対しての支援ということで補正予算を組んでいるところもそれなりにあるのは聞いているところでもありますけれども、津別町としましては3月議会で一定の金額を穴水町に送金したいというふうに考えておりますので、その部分につきましては、また別途協議をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（鹿中順一君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 以上で行政報告を終わります。

◎議案第1号

○議長（鹿中順一君） 日程第5、議案第1号 津別町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

内容の説明を求めます。

保健福祉課長。

○保健福祉課長（森井研児君） ただいま上程となりました、議案第1号について内容のご説明をいたします。

本件は、12月13日全員協議会においてご協議いただいたものになります。

資料により説明いたしますので、資料の1ページをお開きください。

改正理由は、戸籍法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部が改正されたためです。

改正内容は、改正後の戸籍法に係る手数料を徴収する事務及び金額が新たに定められたことによる所要の改正を行うものです。

具体的な内容につきましては、新旧対照表でご説明いたします。

別表（第2条関係）の2の（1）につきましては、事務名称の変更です。（2）についても事務名称の変更です、（3）については、従前の事項を削除し、新たに戸籍電子証明書提供用識別符号の発行を新設し、金額を1件につき400円とするものです。（4）も、新たに除籍電子証明書提供用識別符号の発行を新設し、金額を1件につき700円とするものです。

2 ページ目にわたりますが、従前の（４）（５）は、（４）の新設に伴い順番が繰り下がり、それぞれ（５）（６）となるものです。従前の（６）が（７）となり、文言の修正及び届出等情報の内容の証明書交付事務を追加するものです。

従前の（７）は（８）と繰り下がります。従前の（８）が（９）となり、文言の修正及び届出等情報の内容を表示したものの閲覧の事務を追加するものです。

それでは、議案に戻っていただきまして、ただいまご説明した内容を議案化したものとなります。

附則としまして、この条例は令和 6 年 3 月 1 日から施行するものです。

以上、内容の説明をいたしましたので、ご承認いただきますようよろしくお願いいたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第 1 号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第 2 号

○議長（鹿中順一君） 日程第 6、議案第 2 号 令和 5 年度津別町一般会計補正予算（第 8 号）についてを議題とします。

内容の説明を求めます。

住民企画課長。

○住民企画課長（小泉政敏君） ただいま上程となりました、議案第2号についてご説明いたします。

今回の補正につきましては、昨年12月13日に開催の第7回全員協議会で協議させていただいた、重点支援地方交付金を活用した飼料価格高騰対策支援事業及び愛林のまち林業林産業原木等購入支援事業並びに産地生産基盤パワーアップ事業に係る増額となります。

補正予算の条文をご覧ください。

第1条第1項は、歳入歳出予算にそれぞれ5,963万7,000円を追加し、補正後の予算総額を75億7,121万4,000円とするものです。

第2項につきましては、後ほど説明させていただきます。

事項別明細書につきましては、歳出から説明いたしますので5ページから6ページをお開きください。

款6農林業費、項1農業費、目3農業振興費、産地生産基盤パワーアップ事業は、高性能な農作業機械等の導入に対するトンネル補助事業で、3,172万9,000円の増額です。目5畜産業費、畜産振興対策事業、その下の項2林業費、目2林業振興費、林業振興対策補助費等は、どちらも重点支援地方交付金を活用した支援事業で、畜産農家への飼料購入、林業林産業事業者への原材料等の購入の支援で増額です。

歳出については以上です。

次に、歳入の説明をいたしますので、3ページから4ページをお開きください。

款14国庫支出金は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で増額。

款15道支出金は、歳出で説明した産地生産基盤パワーアップ事業と同額です。

款18繰入金金は、財政調整基金繰入金で一般財源不足分の増額です。

それでは、補正条文にお戻りください。

第1条第2項につきましては、ただいま説明いたしました内容を第1表のとおり款項区分ごとに整理し、第1項の補正額及び予算総額とするものであります。

以上、内容について説明いたしましたので、原案にご承認賜りますようよろしくお

願いたします。

○議長（鹿中順一君） 本案について質疑を許します。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 質疑を終結します。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鹿中順一君） 討論なしと認めます。

議案第2号を採決します。

この採決は起立によって行います。

本案は、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（賛成者起立）

○議長（鹿中順一君） 起立全員です。

したがって、本案は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（鹿中順一君） 以上で、本臨時会に付議されました事件は全て終了しました。

これで令和6年第1回津別町議会臨時会の会議を閉じ閉会いたします。

ご苦労さまでした。

（午前10時22分）

上記会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

津別町議会議長

署名議員

署名議員